



2008-2009 年度
国際ロータリー会長 李 東建
第 2690 地区ガバナー 鳥居 滋

平田ロータリークラブ 事務局
〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F
Tel : 0853-63-3232 / Fax : 63-5365 / IP : 050-5204-5816
URL : <http://hirata-rotary.jp/> Mail: office@hirata-rotary.jp
A.M. 9:00 ~ P.M.5:00 土・日曜・祝祭日休局

会長 / 原 孝士 副会長 / 高砂 明弘
幹事 / 田中 浩史 会計 / 大谷 孝

クラブテーマ 「 環境 」

例会プログラム

例会日	卓話者	演題
11月13日	ロータリー財団 恒松 克己 委員長	ロータリー財団月間に因んで
11月20日	出雲警察署 署長 宇山 洋 様	出雲の治安と課題
11月27日	会員 釜屋治男	新入会員スピーチ

出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前回補正出席率
42	34	8 (3)	87.18 %	80.00 %

欠席者

黒田 / 錦織 / 園 / 常松 / 園山 (石原恵 / 河原 / 吾郷)

来訪者

なし

MU

11/10 大谷 (出雲中央) 11/12 平野 (大社)

次回例会受付当番

(11月27日) 伊藤義徳 / 大谷 孝 / 佐々木哲也

近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

(出雲) (松江) 赤字文字 例会変更

月	出雲中央RC 12/15	月	松江南RC
火	出雲RC 12/29 (休)	火	松江しんじ湖RC
水	大社RC	水	松江RC 12/17 12/24 12/31
		木	松江東RC
金	出雲南RC		

会長挨拶

- パナソニック、三洋を買収 -

パナソニックが三洋電機の買収を目指すのは、三洋が得意とする太陽電池事業や、急成長が見込めるリチウムイオン電池事業を取り込み、2009年度までの中期経営計画で掲げる売上高十兆円企業の実現を確実にするのが狙いだ。これまで、パナソニックは事業の選択と集中を進め、経営基盤を強化するとともに、「国際的な優良企業」を掲げ、海外戦略を加速して成長を目指してきた。ただ、売上高十兆円の「公約」を実現するには、昨年度の実績に対して一割近くの上積みが必要で、ハードルは高い。金融混乱を発端に世界的に景気減速が鮮明となる中、「計画達成には、企業の合併・買収は不可欠」とみられていた。

パナソニックは家庭用の太陽電池事業からいったん撤退。だが、原油価格の高騰を背景に国内外での普及拡大の動きが活発化し、シャープなど電機各社が生産能力を増強した。ホンダ、昭和シェル石油など異業種から本格参入の動きも広がっており、パナソニックが再び参入するかどうか注目が集まっていた。

幹事報告

1. 島根印刷株式会社取締役会長 原孝士様、代表取締役社長 原恵司様よりご就任の挨拶状を頂きました。

2. 例会変更

出雲中央RC 12/15 (月) 家族同伴忘年例会 (夜間)
ビクター受付 11:30 ~ 12:30 事務局

3. 休 会

出雲RC 12/29 (火) 定款6条により
ビクター受付 なし

4. 出雲中央RCよりお知らせ

(新) FAX番号 0853-31-5181

(新) メールアドレス chuorc@white.plala.or.jp

(新) ホームページアドレス <http://www8.plala.or.jp/chuorc/>

クラブ細則第5条第1節により12/18(木)年次総会を開催致します。よって第3条第1節により次年度役員、副会長(次々年度会長)、直前会長を含む7名の理事の立候補ないし推薦のある方は本日より7日間文書をもって受付いたします。

委員会報告

クラブ広報委員会 : ロータリーの友 11月号の紹介

出席親睦委員会 : 12月4日 忘年例会のご案内

スマイル

平野 職場例会に協力ありがとうございました。

恒松 図書館の前のRC15周年記念の時計が再び動きました。本日はスピーチでご迷惑をおかけします。

スピーチ・例会行事

「ロータリー財団月間に因んで」

ロータリー財団委員会 恒松 克己 委員長

ロータリー財団とは

・ RCとロータリー財団

個人会員で構成された平田RCは、クラブとして国際ロータリーのメンバーになっています。つまりRCの世界連合体が国際ロータリーです。ロータリー財団を構成する法人会員は国際ロータリーのみで、正式名は「国際ロータリーのロータリー財団」といわれます。今年度のロータリー財団の目標のトップにポリオ撲滅がある。

・ ロータリー財団の用語

ポールハリスフェロー

ロータリー財団に1,000ドル寄付した人

財団の友

1,000ドルまでの寄付の継続を明らかにして最初に100ドル寄付した人

マルチプル・ポールハリスフェロー

ポールハリスフェローがさらに財団に1,000ドル寄付した人

ベネファクター

1,000ドル以上を恒久基金に無条件で寄付した人

メモリアル・コントリビューター

金額に関係なく、なくなった人を記念して寄付した個人またはクラブ

・ ローター財団は寄付金によって活動しています

寄付金には	
年次寄付	平田RCでは年間一人10ドルとポリオに1,500円 財団箱と百万ドルの食事で25万円が予算書にあります 年次寄付は3年後に地区へ50%がかえり 地区財団活動資金(DDF)となります 50%は国際財団活動資金(MF)となります
恒久基金	ポールハリスフェロー 基金となり運用されて活動費となります
使途指定寄付	ポリオ・プラスへ指定して寄付する

2007-08年日本では、年次寄付 1,183万ドル、恒久基金 158万ドル、使途指定寄付 65万ドルで一人当たり122.38ドルです

・ ローター財団のプログラム

教育的プログラム

- 国際親善奨学金プログラム
- 国際問題研究のためのロータリープログラム
- 大学教員のための補助金、研究グループ交換プログラム

人道的プログラム

- 地区補助金(DDF)
 - 平田RCへ本年度4,500ドル、
 - 05~06年度にはDDFから9,000ドルと
 - WFから10,500ドルの補助金が出ました
- ボランティア奉仕活動補助金
- マッチンググラント

ポリオ・プラス・プログラム

ポリオ・プラス基金

ロータリーは1979年に初めてポリオのプロジェクトに携わった。1985年に、はしか、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の五つをプラスして同時追放を目的としてポリオ・プラスと呼ぶようになった。財団は2007年野生ポリオウイルスの世界的撲滅の証明を国際ロータリーの最優先事項とする。2007年にビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団はポリオ撲滅のため、ロータリー財団に1億ドルのチャレンジ・グラントを授与しました。チャレンジ・グラントとは、ロータリーがゲイツ財団の1億ドルと同額を集めることです。ロータリーは2008年1月1日より3年にわたり新しい資金で1億ドル集めることを約束しました。ロータリーのポリオ・プラス募金に向けての努力は、2008年7月1日から2010年12月31日まで公式に実施される。

ポリオに関する資料

1. 予防接種を通じて毎年、予防できたポリオ患者数
1988年の世界的ポリオ撲滅運動の開始から、主として開発途上国の約500万人の子供たちがポリオにかかったと推定されますが、この人たちが、正常に歩いています。ポリオの予防接種を受けたからです。各国政府や世界保健機構(WHO)、国際ロータリー、国連児童基金(UNICEF)、米国疫病対策センター(CDC)、援助提供国の海外開発機関の協力により現在では毎年、50万人以上がポリオを免れています。
2. 予防接種を受けた子供の数
「ロータリーがポリオ・プラス・プログラムを開始した1985年以来、国際ロータリーとその財団、および私たちのパートナーの努力で、20億人以上の子供たちが経口ポリオ・ワクチンを投与されました」
3. 2006年における予防接種
「2006年における世界的ポリオ撲滅活動の一環として、36カ国で3億7500万人以上の子供が予防接種を受け、21億ドースの経口ポリオ・ワクチンが使用されました」
4. ポリオのない国に居住する子供たちの割合
1988年の時点では、世界の10パーセントの子供たちがポリオのない国に居住していました。2007年1月1日現在、世界の70パーセント以上の子供達がポリオのない国に居住しています。
5. 子供一人当たりのワクチン費用
一人当たりわずか米貨60セントのワクチンを使うことで子供をポリオから救うことができます。
6. ポリオウイルスの流入
一度はポリオ発生ゼロとなった27の国々に、2003年1月以来、野生株のポリオが持ち込まれ、1,400件以上の麻痺を伴うポリオの症例が見られました。これらの国々のうち、6か国(アンゴラ、チャド、コンゴ民主共和国、ネパール、ニジェール、スーダン)だけが、ポリオウイルスの症例を報告しています。